

## 東日印刷・トライが製造販売する電照布看板 将棋名人戦で使われた LUFAS®がオークションに出品 ～藤井聡太新名人と渡辺明前名人の直筆サイン入り～

第81期名人戦七番勝負の会場を彩った電照布看板「LUFAS®（ルーファス）」の布がオークションにかけられ、その収益が日本将棋連盟に寄付されることになりました（\*）。名人戦を主催する毎日新聞社と朝日新聞社から発表されました。

LUFASは東日印刷株式会社（本社：東京都江東区、社長：武田芳明）とグループ企業の株式会社トライ（東京都江東区、社長：瀧永秀一郎）が製造、販売しています。名人戦で使用された看板は分解して持ち運びできるモバイルタイプで、布は100%ペットボトル再生の環境配慮型。表裏2面に張られた2枚の布に、対局したお二人がサインされました。

4月5日から始まった第81期名人戦七番勝負は、藤井聡太6冠が渡辺明名人に挑戦し4勝1敗で藤井新名人が誕生。史上最年少で名人位と7冠を獲得して幕を閉じました。LUFASは前夜祭や大盤解説会場などに置かれ、布は幅1メートル、高さ2メートル。看板の上下フレームに取り付けられたLEDで明るく光って記念撮影スポットとなり、その様子がSNSでも多数拡散され話題となっていました。

LUFASは誰でも簡単に布がピンと張れるテンション（展張）構造で国際特許を取得。看板製作の初期費用だけでなく、取り付け・取り替えなどのコストも大幅に削減できます。また、その美しい仕上がりで2019年度のグッドデザイン・ベスト100にも選ばれました。さらに同じ大きさの亚克力板に比べて製造時のCO2排出量を95%削減（重量比）でき、昇華転写という高度な印刷技術で布を小さく折り畳めるので輸送時のCO2排出量も削減できます。布は100%ペットボトル再生、フレームにも再生アルミを50%以上使用するなど、その高い環境性能で、海外のハイブランドの国内店舗などで採用されています。

（\*）出品対象は立て看板の布部分（電照布）のみです。



ネットオークション  
特設サイト



毎日新聞の記事



（写真上）モバイルタイプはこのケースで持ち運べます。

（写真右）名人戦 LUFAS の全体像



# TONICHI

住所：東京都江東区越中島 2-1-30

東日印刷は、今年で創業71年。毎日新聞グループの中核新聞印刷会社で、輪転機10セットを備える本社工場は世界最大級。傘下の関連会社を含め関東・福島に6工場24セットを保有し、日刊紙や各種専門紙など約40紙を制作・印刷している。近年は電照布看板の印刷やデジタル事業（名刺管理ソフト）などの新規事業を積極的に展開。経営理念は「顧客に信頼される会社でありたい 社員の誇りとなる会社でありたい 地域で親しまれる会社でありたい」。会社方針は「最高の品質と最高のサービス」

〈本件に関するお問合せ〉

東日印刷株式会社 プロモーション本部

<https://tonichi-printing.co.jp/inquiry.html>

\*東日印刷 お問い合わせ で検索ください